

令和6年度 厚木市障害者協議会 第1回 実務者会議

日時	令和6年6月20日(木) 午後2時から午後5時まで
場所	アミューあつぎ amy スタジオ
出席者	<p>○委員</p> <p>厚愛訪問看護ステーション連絡会  厚木市身体障害者福祉協会  厚木市自閉症児・者親の会  精神保健福祉促進会フレッシュ厚木  厚木地区知的障害施設連絡会  厚木市障害者福祉事業所連絡会  厚木市・愛川町・清川村地域精神保健福祉団体連絡会  厚木市居宅介護事業所連絡会  神奈川県総合リハビリテーション事業団七沢自立支援ホーム  厚木市児童発達支援センター ひよこ園  相談支援事業所連絡会  厚木市地域包括支援センター  厚木市教育委員会  特別支援学校  厚木公共職業安定所  県央地域就労援助センター障害者就業・生活支援センターぽむ  厚木市社会福祉協議会  厚木市障がい福祉課  厚木市障がい福祉課</p> <p>○事務局</p> <p>厚木市障がい福祉課  厚木市障がい者基幹相談支援センター</p>
<p><b>1 開会【司会：事務局（厚木市障がい者基幹相談支援センター）】</b></p> <p>(1) 厚木市市民福祉部障がい福祉課長から挨拶  (2) 令和6年度新委員及び事務局新メンバー紹介</p> <p><b>2 議題【進行：会長】</b></p> <p>(1) 日中サービス支援型共同生活援助の報告について</p> <p><b>質疑応答</b></p> <p>○厚木市自閉症児・者親の会</p> <p>日中支援型のグループホームはニーズはあるんですよね。私共親亡き後のことを考えてということをすごく考えていてすごく興味がありました。今日はご報告ありがとうございました。各ホームにお聞きしたいのですが利用者さんの年齢層はだいたい何歳くらいが中心なのか。</p> <p>また、この先車椅子利用者がどんどん多くなっていくと、このホームでも利用できなくなってしまっていく場合は連携先があるのかどうか。ちょっとお聞きしたかったのです。それぞれお聞きしてよいのでしょうか。</p> <p>○ソーシャルインクルーホーム厚木三田</p> <p>年齢層は10名のホームになっておりまして、20代3名、30代1名、40代2名、50代4名</p>	

ですね。20代の若い方もいらっしゃいます。ショートステイをご利用の方は20代が全員となります。今現在車椅子の方もいらっしゃいます。その中で今後のことを考えまして、バリアフリーのことにしましては住居はすべてバリアフリーに対応しております、リフト浴であったり、トイレもすべてバリアフリーであったりしますので、車いすになってしまっただけで利用できないということは今のところ考えておりません。以上になります。

#### ○ソーシャルインクルーホーム厚木金田

20名のうち、60代の方が3名いらっしゃいます。難病の方も含めて車椅子の方3名いらっしゃいます。三田と同様に入浴の方はリフト浴がございますし、もちろんバリアフリー、リフレクターも用意しておりますので、生活するうえでは特段問題ないかと思えます。20代の方も5名ぐらいいらっしゃいまして、30代、40代がそれ以外の方になります。三田なんですけれど、重度ケアというかきちんと最期まで対応させていただきますというところで契約の方も取らせていただいておりますので、出来る限り最後までしっかりと支援していくという形にはなりますが、どうしても看護が必要になる、医療的にグループホームでは難しいよ、ということになれば各関係者と相談しながら方針を決めていくという形になります。

#### ○すぎな会生活ホームⅡ

いくつが何人かわからないんですけども、最高齢の方が88歳の方が入居されているのと、女性で30代の方がいらっしゃいます。車椅子を使う方はいらっしゃいませんが、杖ですとかカートですとか、そういうのを使い始めてきております。何かあった場合、先程も申し上げましたが訪問看護を利用しながらの対応となるのかなど。うちは入所というのがありますので、ホームで難しいということになりましたら、男女ともに入所の方ということを考えることも十分ありますし、本来ということであれば対応を考えますが。一応バリアフリーでもありますし、温水ホームの男性の方が平屋なんです、なので階段もありません。長谷は2階建てですが、エレベーターがありますし、それなりの生活が年寄りでもできるかと思えます。その時の状況によって対応は変わってくるかと思えます。

#### ○精神保健福祉促進会フレッシュ厚木

基本的な質問で申し訳ないんですけど、民間でいろんなグループホームが厚木市市内にあるんですけども、そういうのとどう違うのか教えていただきたいんですけど。

#### ○事務局【厚木市障がい福祉課】

通常グループホームは、介護包括型といって、日中は精神の方ならデイケアもそうなんですけど、障害福祉サービスであれば生活介護だったり、就労継続B型だったり、一般就労されている方もいます。日中は外にでる、基本夜間の支援をするのが介護包括型というものになります。

今ご報告いただいている日中サービス支援型というのは名前の通り、日中もグループホームにいられる、日中、介護をするようなグループホームになります。通常のグループホームよりも支援員も手厚く配置されないと当然支援できませんし、国の想定であれば地域移行先となるようなグループホームというのが想定されるんですね。ですので地域の意見を聞く、こういった協議会の意見を聞く、そのうえで地域資源、地域ニーズのスケールを作っていたらいいと、そして、こういった報告をする、現状を話すことでそれに即したグループホームを運用していただくという、結構大がかりなグループホームになります。ざっくりいうと、日中外にでる、日中支援をする、そういった差があります。

#### ○会長

日中活動みつからなくても、地域移行の先としてっていう。なかなか日中活動先がみつからなくて退院できないっていう人が多くって。

#### ○精神保健福祉促進会フレッシュ厚木

それでいくと、割と重い方が対象というイメージでいいんでしょうか。手厚いあれが必要というふうな。

○事務局【厚木市障がい福祉課】

そうです、重い方に特化したグループホームといっても過言ではないです。逆に、軽い方を受けると報酬が下がったりします。本来なら中で支援をしていくという形になるので、外にでてしまうと単価が下がってしまう報酬上の仕組みもあります。ですので、こういった重い方を重点的に見てもらうグループホームになります。

○議長

選択肢が増えたっていう、時代がかわりましたね。質問等なければ、日中支援型のみなさんありがとうございますございました、お疲れさまでした。議題、グループワークの方でよろしいでしょうかね。では進行の方お願いします。

## (2) グループワーク「神奈川 DWAT の活動報告」

### ア 事務局説明【厚木市障がい者基幹相談支援センター】

すみません。次第では(2)各プロジェクトの報告となっておりますが、ちょっと時間の関係です、今日グループワークに時間を割きたいと思っておりますので、議題を入れ替えさせていただきます。

次は、(3)の神奈川 DWAT の活動報告に進みたいと思います。ここからグループワークに入りますけれど、今回厚木の中でも地域課題の一つであります、「災害時における要配慮者への支援」を少しテーマにして、短い時間ではありますがみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

記憶に新しいところでは1月1日の能登半島地震であったり、おそらく来るのではないかとされている南海トラフであったり、首都直下型の地震であったり、そういったもの以外でもこれから台風のシーズンが来たりしますので、風水害、ちょっと前厚木でも相模川が氾濫して浸水したなんてこともありましたので、我々の生活と災害というのは切っても切り離せないものになっているんだなというところであるんですけども。実際災害の準備だとか、要配慮者の支援ってどうなっているんだろうなというところをこの機会に再点検してもらって考える機会にしていきたいなと思っています。

今日は外部から講師の方お二人お招きしています。公益社団法人神奈川県社会福祉士会の災害対策委員会、それから一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会災害対策委員会、お二人をお招きしております。

おふたりは「神奈川 DWAT」という、神奈川県の災害派遣福祉チームの一員として今年1月の能登半島地震を受けて、県から依頼を受けてですね、福祉専門職で構成するチームとして、石川県の方に災害派遣で活動に従事をしてこられたお二人になります。報告の中にもありますが、1.5次避難所のところで実際に避難されてきた方の支援をされてきたところで、今日はですね、改めてその活動の報告をちょっとしていただいて、みなさんで災害が起きたときの実際の現場ってこういう風なところになるんだなということを全体で共有してもらって、その後でグループワークっていう形で進行したいなと思います。

まずは活動報告ということで、お二人に30分ほど講演をしてもらって、そのあと少し質問等あると思いますので、その時間をとりながら、グループワークを45分という形で時間設定してもらってますので、よろしく願いいたします。ではよろしいでしょうかね、お願いいたします。

### イ 神奈川 DWAT 活動報告【公益社団法人神奈川県社会福祉士会】

#### (7) 事務局進行【厚木市障がい者基幹相談支援センター】

ありがとうございました。実際こういう風なことが1月から起ってたんだというところ、報道ではありましたがここまでなかなか詳しく現実的なところを見るっていう機会はなかなかなかったんじゃないかなと思いますので貴重なお話ありがとうございました。少し、講師の方に質問等ありましたらですね、この時間でお受けしたいと思いますので、どなたかご質問等えられる方いらっしゃいますか。

(イ) 質疑応答

○厚木市自閉症児・者親より

派遣依頼っていうのは、震災が起きた、地震がありました、被災してますっていう、というとすぐに連絡がくるものなんですか。

○一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会より

実際に我々に依頼がきたのはですね、1月の下旬ですね。ただDWAT自体はもうちょっと早く入っていてですね、なぜならDWATって被災県、今回は石川DWAT、もしくは近隣県からまず派遣が決まってくるんですよ。なので、ただ今回の災害の規模からいったら、1月1日の発災の時点で私たちに来るなどは思っていたんですが、実際に来たのはまずは関西とかから、順番に神奈川に依頼がきてそれが1月下旬だったと。

○厚木市自閉症児・者親より

ありがとうございました。あんまりこういう話って聞くチャンスがないので非常に勉強になりました。

○公益社団法人神奈川県社会福祉士会

今も申し上げましたが、私たちも今回初めてだったので、他のチームDWATは何回か行ってる県もあるんですね。この辺だと群馬だったり。京都だったり。経験のあるDWATの県っていうのもあるんですね。なので、一番最初に近隣の県に声がかかり、それから経験のあるDWATのチームのある県に声がかかり、なので私たちは行ったことのない、経験のない新人のDWATの県だったので、なので1月の終わりごろになったのかなと思っています。

○愛名やまゆり園

実は私もDWATの登録メンバーでして、今回派遣の要請が実際ありまして、何日から行けますよ、何日から行けますよと返事をしたんですが、今回は派遣にはならなかったんですけど。あの、実際DWATのみなさま方の寝泊り、派遣先でどのような形で寝泊りして通ったのか、どうだったのかをお伺いできればというところでございます。

○一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会

今回1.5次避難所に関しては金沢市内にあったんですね。なので私たちの寝泊りは金沢市内のホテルです。普通のホテルです。県で宿をとってもらって、そこから車で通勤するみたいな、そういうイメージでした。日中そこで働いてまた夜そこに戻るという本当に通勤という形でした。ただ、災害によっては被災地そのものの避難所に行かなくてはならない、というときはとてもそんな状態はできない。その時はその時で、寝泊りできる場所を探すっていうことになると思います。

○公益社団法人神奈川県社会福祉士会

輪島の方は時期も時期だったんですけど、私たちも金沢市内に泊まった時、ホテル内はほとんど自衛隊とか、支援に入っている方たちが泊まるっていう形で。輪島のチームが行った頃には逆に2次避難所として被災者の人たちが泊まったりして、なかなかホテルも満杯状態みたいな感じだったんですね。

輪島のチームも金沢市内、わりと被災地よりは離れたところで寝泊りをしていたので、輪島の方に毎日車で朝でかけて3時間とか4時間かかって出て行って、また車で同じ時

間かけて戻ってくるっていう形だったので。輪島のチームの方が移動が大変だったかな。道もまだ完全に整備されてなかったので、その中で運転しながら現地に向かって行ったということなので。そういう意味では私たちは、1.5次の避難所だったんですけど、泊まっているところとスポーツセンターがそんなに離れてなかったのでまだ移動しやすかったという感じですね。

#### ○精神保健福祉促進会フレッシュ厚木

私は精神障がい者の家族という立場でここへ来てますので、精神障がいのことをどうしても中心に考えてしまうんですが、皆さんが行かれたのが2月以降というか、震災が起きてから1か月後に入られたと思うんですけど、その前のことはたぶん見ていないのでわからないとは思いますが、1.5次避難所に行くとか、その先のホテルに行くとか、あいだが結構長いので精神障がい者がその間、いったいどうやって過ごしていたのかというのが不思議ではないんですね。

自宅に普通にいるのも大変でいろいろ問題が起きる人たちが、避難所にとりあえず逃げて、1カ月たってもやっと1.5次避難所とか、そのあとホテルに行けるのか行けないのか、そういうのが、家の子で言えばもう1日だってもたないんじゃないかって。どうやって過ごしてきたのか不思議ではないんですが。その辺のところを教えてください。こここのところほんといつ起きるかわからないと考えると厚木の障がい福祉に対して経験してきたことを見て障がい福祉に対してこういうことを準備して、こういうことを考えて準備したらいいよというアドバイスいただきたいんですが。

#### ○公益社団法人神奈川県社会福祉士会

私達1.5次避難所ではさっき、テントがあってベッド二つあってという感じで、普通1つのテントで二人という形がほとんどだったんですが、精神疾患持ってらっしゃる方がいらっしゃいまして、お母さんと息子さん二人で、息子さんが二人、一人は発達かな、一人が精神だったのかな、そこの家に限って一人ずつテントでした。だから一人の空間を保てるようにしてたんだろうなと思いますし。テントだからチャックがあるんですけど、完全にチャックを閉めてしまわれると私達も今は人と関わりたくないのかなと感じますし、そういうとき私達は無理くり開けてどうですかなんて言わないで、本人が保ちたい空間を大事にした方がいいなというのを思っていたところなんです。

ただ、安否確認や健康管理など保健師さんが毎日されてましたので、医療の面で。そこは毎日中にいらっしゃる方は一応大丈夫かどうかは聞いていただいていたのかなと思うので、そこら辺の確認はできていたと思います。テントの割り振りをするときでも、一人で一テント、みたいな感じ、認知症の方もいらっしゃいましたし、そんな感じでそれぞれに合うような、完全に合うかっていうのは難しいんですが、なるべくストレスがかからないようにっていう形で配慮されていたのかなって思ったところですね。

#### ○一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会

今回の能登の地震に関しては、地理的な悪条件っていうのがものすごく大きかったので、いろんな支援が遅れて入ったというのがあると思うんですね。ただ、神奈川県に置き換えてみたときに、やはり事前にどこに避難するのかということをお一人お一人考えておくことが大事だろうなってことをすごく思います。

言葉で言い換えたら個別避難計画ということになると思うんですが、どこに避難するかは想定して避難をする、まあ練習というか、訓練というか、それをしておくことはすごく大事ですね。それをしていたとしてもいざ発災した時にそこに逃げられるとも限らないので、いろいろな条件があつて。しかも地元にいるとも限らないし、私達が発災した時に。だからその都度その都度、避難した先で適切な避難っていうのかな、

福祉支援、それが受けられるように災害の対策と福祉の施策っていうのを一緒にやっていかないといけないなと思います。ますますたぶん単なる防災だけじゃなくて、そこに福祉っていうのを一緒にくっつけて考えて施策を作っていくとだめだなということをますます必要だなと思います。

○精神保健福祉促進会フレッシュ厚木

例えば、厚木市なんかだと、精神科病院が二つくらいあると思うんですね。ないところもあるんですが、厚木はあるんですね。例えば、そういった建物がもし一部壊れたからみんないったん避難しなくてはいけないとなったとき、厚木市はどういうふうなこう準備をしているのかなとか、ほんと不思議でしょうがないんですね。そんなところもどなたかちょっと、アドバイスっていうか教えていただきたいのと、ほんとに想像つかないんですよ、家の息子が例えばそうなったときにほんと持つわけなくて、周りトラブル起こすし、あの、一人一人の空間もらったとしてもいられないと思うんですね。知らない人が同じところにいるっていうこと自体がもう無理で、たぶんすごく迷惑かけると思うんです、奇声発しちゃったり。最悪暴れちゃったり。夜中もずっと歩き回るとか。ちょっと想像できなくて。そうとう、こう準備をしていないとみなさんにご迷惑かけるし、そばにいる親も避難しているっていうストレス、プラスその子がいつ爆発するだろうかひやひやしながら氷の上を歩いているという気持ちの思いでいると思うとぞっとするんですけど。そうとう準備が必要なんだなと感じるんですけども。その辺目の当たりにしたというかそういうのありましたか。

○一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会

私達がいた 1.5 次避難所に関してはそこまでのケースっていうのはいなかったんですよ。事前にスクリーニングされていたんだと思うんですよ。だから 1.5 次避難所に来られる時点で地元の市町村で、能登の。そのあたりが対策されていて、当然やっぱり精神障がいの方がいらっしゃったと思うんですね、そういった方たちは別の対応を受けていたんだろうなと想像します。

○精神保健福祉促進会フレッシュ厚木

例えば、別の対応っていうのはこういうのだったよとお聞きになったり、見たりしたっていうのはありましたか。

○一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会

おそらく医療とか、福祉に関するいろいろな支援が必要な場合は、福祉だったら福祉避難所、医療だったら、医療機関等におそらく搬送されていたんだと思うんですね。

○精神保健福祉促進会フレッシュ厚木

厚木は福祉避難所ないんで、ほんとにどうするんだろうって思ってます。

○事務局【厚木市障がい者基幹相談支援センター】

はい、ありがとうございます。厚木は福祉避難所がないんですよ。そんなこともこの後のグループワークの中で少しお話していただいて、深められたらなと思います。最初にお配りしたグループワークの記録用紙がありますので、それを用意していただいて、ここから 45 分で今の神奈川 DWAT 活動報告を受けてですね、課題に感じていることとか、あとはそれぞれの事業所であったりとか、機関であったりとかそういうところですね、取り組めることって何だろうなってことを少しグループの中で話し合っていたらと思います。

グループの中に事務局のスタッフが入りますので、事務局のスタッフが進行していきますので、それぞれご担当の方よろしくお願ひしたいと思います。今から 45 分ですので、今 50 分ですので 16 時 30 分までグループワークの時間とさせていただきますと思ひ

ます。その後各グループの発表を少ししていただけたらと思います。進行、各グループの方お願いいたします。

#### ウ グループワーク報告

##### (ア) 事務局進行【厚木市障がい者基幹相談支援センター】

16時30分に近づいてまいりましたので、ここでいったんグループワークは終了させていただきます。発表に移りたいと思います。全部のグループに発表していただければなと思ったんですが、時間の関係で二つのグループに絞らせていただきます。あつたところは報告お願いできればと思います。まずは1グループ。

##### (イ) 1グループ

まず、課題と感じていること、ですが、このグループではまず課題だらけだな、という話がありました。特に、その中でも一つが要配慮者、要支援者登録制度ですかね、名前が違いかもしれませんが、その登録制度がまだ知られていなくてですね、登録されていない方がいらっやると。そこへの周知が必要なのではないかという話がありました。

あと、防災訓練、各自治体などでやられているとは思いますが、防災訓練に出たいけどなかなか出られない方もいるよね、その方への対応が必要ではないかと。例えば、なんらかの障がいがあるとか、あとご高齢で車椅子でなかなか外へ出られない方への防災訓練参加をどうしていくかが課題じゃないかと、ということが話あわれました。

また、取り組めることですが、例えば、障がいの事業所の通所先が防災訓練などしてありがたいな、まあ努力義務があるらしいんですけど、そういうのが一つできるんじゃないかというのと、あと自治会で行われている防災訓練でも障がいのある方とか、ご高齢の方が参加がしやすい配慮ができればよいと。あとは親御さんでも最初だけでも参加する、それだけでも防災訓練でこういうものだよって障がいのあるお子さんに体験してもらえないかっていう話ができました。1グループは以上です。

##### (ウ) 2グループ

まず、課題についてはそれぞれテーマがあったんですけど、困っていることについて意見を出し合ったという形に終始しました。1グループでもあったように要支援者名簿、作っているけれど、同意した方は載っているけれど、そうではない方もいるんじゃないかってところ、その方たちの情報共有がされていないのではないかと、また、個別避難支援計画、名称が違いかもしれませんが、それについても同様で、どう共有するのか、一人の人を例えば地域の人を把握するのに誰がどう分担していくのかっていう、そのあたりが共有できていないなっていう話、がありました。

その中でも防災対策チェックリスト、これはぜひやってほしいというお話を聞かせていただいたので、そこちょっと今後重点的に進めていくべきことかなと。あと東日本(大震災)を知っているスタッフ、知らないスタッフがいるという中でほんとにここは課題だなというところそんな話ができました。そんな意見ができました。以上になります。

##### (エ) 総括1【一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会】

お疲れ様です。避難っていうのは大事だと思うので、九州の別府の方でインクルーシブ防災っていう取り組みがすごく進んでいて、個別の避難の計画を作るときにただ個別の避難の計画を作るだけじゃなくて、それを地域の方たちと共有して実際に避難を支援する人が家族や施設の人だけじゃなくて、近所の方もそこに加わるように普段からコミュニケーション取りつつ、進めていくというのをやっているみたいなんです。そういった取り組みを、わたし横浜で働いているんですけど、横浜もまだまだ行われてないですけども、そこで推進していけたらいいなと思っています。今回の能登の地震というのはすごく私たちに課題を投げかけていると思うので、そこからいろいろ学んでい

ければなと思っています。

(オ) 総括2【公益社団法人神奈川県社会福祉士会】

お疲れ様でした。私自身もそうなんですけれど災害が起こったときってこういうことを考える機会がすごく多くて、ただだんだん日にちがたつと薄れてきてしまったりとかになってしまうのかなっていうのは、私も含めてそうなんですけれど、世の中、周りもそうになってしまうっていうのは、いつも残念だなと思いつただじゃあ自分が何ができのかなって考えたとき、何もできないなってなってしまうんですけれど。私も今回 DWAT に参加して帰ってきて思ったのはやっぱり地域のつながりが大事だなんてことをすごく感じたんですね。

能登なんかは漁師町っていうのもあって、網元もあってとっていましたが、地域でまとまりができちゃってるっておしゃってましたし、普段から地域のつながりってすごく大事だなんて思うので、なかなか都会って言い方変ですけど、顔の見えない周りの人たちの関係があったりもするので、それは自分も含めてそうなんですけれど、やっぱり地域の人達との顔のつながりであったりとか、

みなさんいろんな障がいと関わって、いろんな人たちと関わっていく中で、日ごろのお付き合いだったり、顔の見える関係であったり、どうなっているのかなってことを話し合う場面だったり、今日もこういう風な形でみなさん集まって話し合ってる場面があったりするんで、やっぱりこれが続けていかないと今だけになってしまうと、ここで終わってしまうのかなと思うのでやっぱり続けていくってことが大事かなって思いますので、この会も何か月ごとにあるとおしゃってましたので、みなさんお忙しいとは思いますが、積極的に参加していろんなご意見だしながらみんなで考えていく場面になればいいのかなと思います。以上になります。

(カ) 事務局進行【厚木市障がい者基幹相談支援センター】

ありがとうございました。時間がだいぶん過ぎちゃってるんですけど、大事な時間だと思しますので、みなさんご協力いただいてありがとうございました。今日実際に神奈川県 DWAT として、能登の地震で避難所の支援活動をしていただいた、お二人からお話をきいてですね、実際に現場を知ると言うことが、みなさん今日は参考になったんじゃないかなと思います。

なかなか、防災、災害の取組みって今日やったから明日結果がでるってものじゃないので、非常に長い時間継続して取り組んでいくっていうのがやっぱり大事なんだなってことをすごく思いますので。今まで取り組んでいることはぜひこのまま続けてもらって、今日課題としてみなさんが感じたことはぜひですね、新しい取組みとして、このあと取り組んでもらえればというふうに思いますし、また、あの厚木の協議会の中では防災プロジェクトというプロジェクトがありますので、そこのなかでも今日でてきた意見をですね、取り組みに活かしていきたいなというふうに思っています。

あと、今日皆さんの机にですね、この防災ポケットブックというものを配布させていただきました。これは危機管理課で作成しているものになります。かなり細かい情報がコンパクトにまとめられていますし、今の最新の情報がこの中にまとまっていますので、ぜひ一読いただいて、またいいものですので機会があればみなさんにですね、配布をしていただければと思います。危機管理課に行けばいただける、もう一つですね、これの点字版というのがありますので、ちょっとそればそんなに部数がないので、皆さん持って帰るとあれなので、必要があれば声をかけてもらえればと思いますのでこれを機にもう一度自分たちの足元をもう一度見つめなおしてですね、災害に強いまちづくりというものをこれからも考えていけるようになればいいなと思います。

公益社団法人神奈川県社会福祉士会、一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会につきましては、本当にお忙しい時間のなか、今日はありがとうございました。これでグループワークの方は終了したいと思います。

**(3) 令和6年度神奈川県主任相談支援専門員養成研修受講者決定について**

**【厚木市障がい福祉課】**

お配りした資料にも記載はしてあるんですが、主任相談員という形として相談を通じて課題の整理だったり、地域相談に従事する方に助言等々行うような。一応、自己資格にはなるんですけども。2名の方から厚木市内で応募があったんですけども記載のとおり1名ですね、ここに記載があるとおり畑山さんが神奈川県の方から決定という形になりましたので、この場をもって報告させていただきます。以上です。

**(4) その他**

**ア 厚木市福祉有償運送について【厚木市障がい福祉課】**

白黒の両面で配らせていただいた、厚木市福祉有償運送のチラシになるんですけども、業者向けにはなるんですが、実際にご家族でこういった車両を運転するですとか、技術を身につけたいという要望がありましたら、こちらの講習受けれますので、周りに方がたでいらしゃるようであればご紹介いただければと思います。

こちらですね、厚木市地域包括ケア推進課が担当になりますので、裏面の方こちらの担当課のFAX番号等記載があります。ご興味のある方、ご興味のある方が近くにいらっしやいましたら、ご紹介いただければと思います。

あと、一部の委員の方なんですけれど、代表者会議等ですでに配布させていただいてるんですけど、障害者福祉計画、第7期ですね配布させていただいております。昨年度何度も協議会の方でご報告、ご意見いただいてありがとうございました。無事に成果として完成いたしましたので、この機会に改めて感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。

**イ 次第の議題（2）プロジェクトの取り組みについて**

今回時間が過ぎてしまっているのですが、これに関しては次回10月のところでまたあらためて報告させていただきたいと思いますので、ご了解いただければと思います。

**3 閉会**

副議長から閉会の挨拶

以上。